



NIIGATA UNIVERSITY 2025



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

自律と創生



新潟大学は、かつて「越（高志）」と呼ばれた地に育まれた敬虔質実の伝統と、幕末の開港5港の一つとして世界に開かれた海港都市（新潟市）の進取の精神を受け継ぎながら、1949年5月に新制国立大学として発足しました。新潟大学の全学の理

念は「自律と創生」です。その理念のもとで、2030年に向けた本学の将来ビジョンでは、21世紀における「ライフ・イノベーションのフロントランナー」となることを目指しています。

学長 牛木辰男



新潟大学
将来ビジョン2030

TOPICS

02

地域中核・特色ある研究大学

本学は、2024年度の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択されました。本事業を通じて将来ビジョン2030を発展させ、「“脳といのち”および“食と健康”のイノベーションを創出する研究拠点」の形成を目指します。本学が強みを持つこれらの重点領域にて、ひとバイオリソースバンクの強化、AI・数理情報やELSI領域との融合研究、国内外研究機関との連携を推進し、地域が頼りにし世界に貢献する研究成果の創出と社会実装を加速します。あわせて、若手人材が活躍できる環境を整備し、独自のUniversity Administrator(UA)制度を拡充することで、教職員が能力を最大限に発揮できる魅力的な職場を構築します。

研究とイノベーションを両輪として発展・強化

“脳といのち”
領域

“食と健康”
領域

R&I戦略+高度人材活用戦略

成果を全学に好循環



新潟大学
J-PEAKS

本学では、「メジャー・マイナー制」を導入しています。「メジャー・マイナー制」とは、学生が所属する学部での専門の学び（メジャー）と、自分がチャレンジしたい分野での学び（マイナー）を両立して、体系的に学修するしくみです。マイナー修了者には、修了証が発行されます。この制度は、「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」として整備されています。

社会的課題に複眼的視野により
アプローチできる人材の育成



学部の枠を超えた
分野横断型学修

アカデミック・
アドバイザーによる
サポート体制

マイナー修了者への
修了証の発行

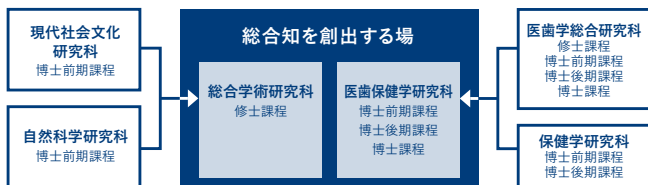
本学では、2026年4月に大学院の組織改革を行います。

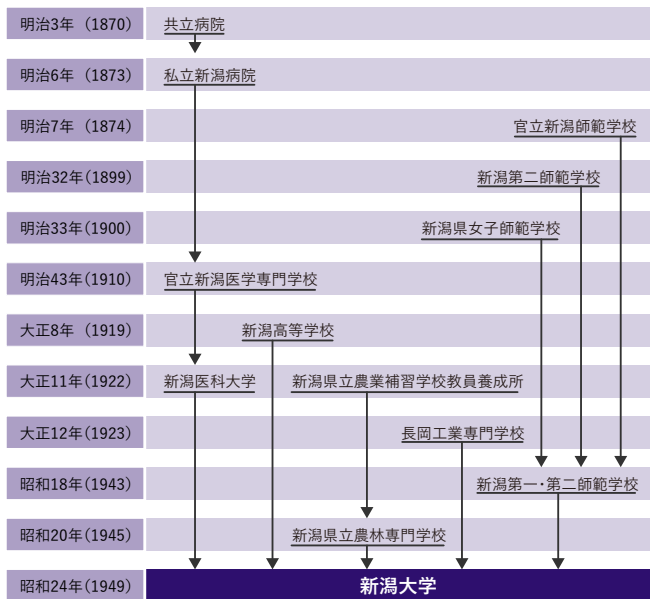
総合学術研究科の設置

『現代社会文化研究科』と『自然科学研究科』の博士前期課程を統合し、新たに『総合学術研究科』修士課程を設置します。人文社会・自然科学系における大学院教育を「専門知識の修得偏重」から、顕在化する複合的課題を解決できる、すなわち「総合知を創生する場で活躍できる人材育成」の場へと転換します。なお、博士後期課程は2028年4月に設置し、区分制大学院への移行を予定しています。

医歯保健学研究科の設置

「医歯学総合研究科」と「保健学研究科」を統合し、新たに「医歯保健学研究科」を設置します。医歯学・保健学系の高度専門職業人養成に係る大学院教育においては、多職種連携を見据え、医学、歯学、保健学という従来の領域を超えた学びの場を提供します。





教育研究院

- 人文社会科学系
- 自然科学系
- 医歯学系

学部

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済科学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 工学部
- 農学部
- 創生学部

附置研究所

- 脳研究所
- 災害・復興科学研究所

医歯学総合病院

全学共同教育研究組織

- アジア連携研究センター
- 佐渡自然共生科学センター
- 日本酒学センター
- ビッグデータアクティベーション研究センター

大学院

- 教育実践学研究科
- 現代社会文化研究科
- 自然科学研究科
- 保健学研究科
- 医歯学総合研究科

別科

- 養護教諭特別別科

附属学校園

- 幼稚園
- 新潟小学校
- 新潟中学校
- 長岡小学校
- 長岡中学校
- 特別支援学校

(2025年4月1日現在)

学部生数 9,980人

学 部	人 数
人文学部	917
教育学部	772
法学部	745
経済学部	8
経済科学部	1,469
理学部	894
医学部	1,484
歯学部	352
工学部	2,299
農学部	756
創生学部	284
合 計	9,980

教職員数 2,574人

区 分	人 数
役員	10
教授	282(48)
准教授	340(41)
講師	72(17)
助教	359(123)
助手	6(116)
教諭・UA	114(6)
事務・技術 医療系職員	1,391(357)
合 計	2,574(708)

大学院生数 2,179人

大学院	人 数
教育実践学研究科	
専門職学位課程	37
現代社会文化研究科	
博士前期課程	111
博士後期課程	71
自然科学研究科	
博士前期課程	1,151
博士後期課程	200
保健学研究科	
博士前期課程	49
博士後期課程	47
医歯学総合研究科	
修士課程	36
博士前期課程	9
博士後期課程	15
博士課程	453
合 計	2,179

別科学生数 48人

別 科	人 数
養護教諭特別別科	48

学部入学者（2025年度）

学 部	入学定員	志願者数	入学者数
人文学部	210	678	225
教育学部	180	433	184
法学部	170	737	193
経済科学部	350	1,111	350
理学部	200	493	214
医学部	300	1,175	301
歯学部	60	407	60
工学部	535	1,465	546
農学部	175	450	182
創生学部	70	127	73
合 計	2,250	7,076	2,328

※選抜試験(公募しているもの)の選抜結果。

(ダブルディグリープログラムや国費など公募によらない選抜分は計上していない)

大学院入学者（2025年度）

専門職学位課程

研究科名	募集人員	志願者数	入学者数
教育実践学研究科	20	23	21
合 計	20	23	21

修士課程〔博士前期課程〕

研究科名	募集人員	志願者数	入学者数
現代社会文化研究科	60	59	44
自然科学研究科	502	626	568
保健学研究科	20	27	21
医歯学総合研究科	26	22	18
合 計	608	734	651

博士課程〔博士後期課程〕

研究科名	募集人員	志願者数	入学者数
現代社会文化研究科	20	11	10
自然科学研究科	70	51	44
保健学研究科	6	8	8
医歯学総合研究科	104	79	76
合 計	200	149	138

卒業後の進路（2024年度学部卒業生）

学部学科	進 学	公務員	教 員	就 職 (医療・福祉)	就 職 (左記以外)	計
人文学部	14 (6.7%)	56 (26.9%)	9 (4.3%)	3 (1.4%)	126 (60.6%)	208
教育学部	10 (5.9%)	11 (6.5%)	127 (75.1%)	1 (0.6%)	20 (11.8%)	169
法学部	14 (8.7%)	77 (47.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	70 (43.5%)	161
経済学部	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	2
経済科学部	11 (3.4%)	70 (21.3%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	246 (75.0%)	328
理学部	134 (66.7%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	1 (0.5%)	44 (21.9%)	201
医学部医学科	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	123 (100.0%)	0 (0.0%)	123
医学部保健学科	26 (16.0%)	22 (13.6%)	0 (0.0%)	111 (68.5%)	3 (1.9%)	162
歯学部歯学科	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43 (97.7%)	1 (2.3%)	44
歯学部口腔生命福祉学科	0 (0.0%)	5 (20.0%)	0 (0.0%)	19 (76.0%)	1 (4.0%)	25
工学部	369 (68.5%)	21 (3.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	149 (27.6%)	539
農学部	75 (41.4%)	31 (17.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	75 (41.4%)	181
創生学部	1 (1.7%)	12 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	47 (78.3%)	60
計	654 (29.7%)	317 (14.4%)	147 (6.7%)	302 (13.7%)	783 (35.5%)	2,203

(2025年5月1日現在)

※医学部医学科と歯学部歯学科の臨床研修医は「医療・福祉」に含む。

※進学、就職以外の者は除く。 ※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合あり。

修了後の進路（2024年度修士・博士課程修了生）

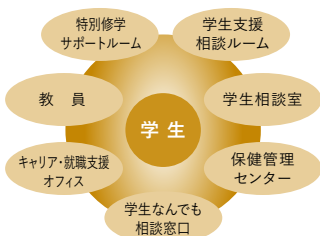
研究科	進 学	公務員	教 員	就 職 (医療・福祉)	就 職 (左記以外)	計
教育実践学研究科(専門職学位課程)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20
現代社会文化研究科(博士前期)	6 (14.6%)	6 (14.6%)	5 (12.2%)	0 (0.0%)	24 (58.5%)	41
現代社会文化研究科(博士後期)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	10
自然科学研究科(博士前期)	34 (7.5%)	19 (4.2%)	4 (0.9%)	2 (0.4%)	393 (86.9%)	452
自然科学研究科(博士後期)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	6 (30.0%)	0 (0.0%)	12 (60.0%)	20
医歯学総合研究科(修士、博士前期)	11 (35.5%)	3 (9.7%)	1 (3.2%)	7 (22.6%)	9 (29.0%)	31
医歯学総合研究科(博士、博士後期)	0 (0.0%)	12 (14.6%)	16 (19.5%)	51 (62.2%)	3 (3.7%)	82
保健学研究科(博士前期)	2 (11.8%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	7 (41.2%)	1 (5.9%)	17
保健学研究科(博士後期)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	5
計	53 (7.8%)	48 (7.1%)	64 (9.4%)	71 (10.5%)	442 (65.2%)	678

(2025年5月1日現在)

※進学、就職以外の者は除く。 ※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合あり。

きめ細かい相談体制

本学では、学生が充実した学生生活を送れるよう、学部の担当教員をはじめ、きめ細かい相談体制でサポートしています。



輝け未来！！

新潟大学入学応援奨学金

本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない学業優秀者に対して、入学時に必要となる学資の一部(50万円※)を給付します。また加えて、自宅が遠く通学が困難な場合は、学生寮(五十嵐寮)の入居枠を優先確保します。

※2025年度入学者への給付額です。

入学時及び在学中の経済的支援

新潟大学入学応援奨学金

※他の奨学金と併用可

日本学生支援機構給付奨学金
(多子世帯授業料等無償化を含む)
+ 入学科・授業料免除、貸与奨学金

本学独自の入学科・授業料免除
および徴収猶予制度

新潟大学修学応援特別奨学金
(月額3万円[12ヶ月限度])

新潟大学修学支援貸与金制度
(5～10万円)

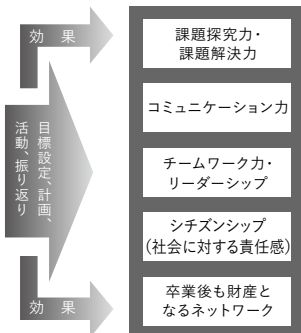
入学時

在学中

ダブルホームは、地域や仲間の思いを大切にしながら、正解のない地域課題に、学生・教員・職員によるチームで取り組むプログラムです。第1のホームである学部・学科という専門の学びの場を越えてつくる第2のホームで「新たなふるさとづくり」としての地域活動を行っています。

第1のホーム

第2のホーム

地域活動
(新潟県・山形県)

外国人留学生の受け入れ

グローバルキャンパスの構築を目指して、短期（数週間）、交換留学（セメスター）、学位プログラムを通じた留学生の受け入れを推進しています。

外国人留学生数 （2025年5月1日現在） ※「留学」の在留資格を有する学生 ※55の国・地域から	459人
外国人学生数 （2024年度延べ） ※上記外国人留学生に加え、「留学」以外の在留資格を有する外国人学生を含む	969人

学生の海外派遣

グローバル人材育成を推進するため、目的や学習段階に応じて、学生に海外留学の機会を幅広く提供しています。

海外留学者数 （2024年度実績）	515人
交換留学等による中長期（3か月以上）の留学	45人
短期（3か月未満）の海外派遣プログラム参加等 ※調査・研究・学会参加等を含む	470人

オンラインによる教育交流

コロナ禍における渡航型留学の代替として急速に発達した、オンラインなどICTを活用した多様な国際教育プログラムをコロナ後も継続して留学交流を促進しています。（2024年度は本学学生159人と海外協定校の学生101人がオンライン留学プログラムに参加）

交流協定

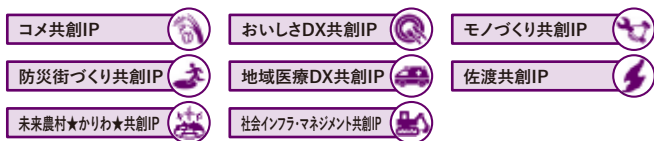
海外の大学等と交流協定を締結し、教育・研究交流に係る国際ネットワークの構築を推進しています。

交流協定数 （2025年5月1日現在） ※海外47か国・地域	363件
--	-------------



地域との共創による地域創生を推進するため、2022年度より共創イノベーションプロジェクト(共創IP)を開始しました。新潟が持つ国際的優位性やブランド力と、本学が培った最新の科学・技術・学術の「知」を組み合わせた重点領域を設定し、新潟をより魅力的な地域へ発展させるためのプロジェクトを推進しています。2022年度に開始した6つの共創IPに加え、2024年度に「未来農村★かりわ★共創IP」と「社会インフラ・マネジメント共創IP」を新たに始動させました。また、共創IPの成果報告や地域と大学の対話の場として、「紡(つむぎ)の会」を定期的に開催しています。

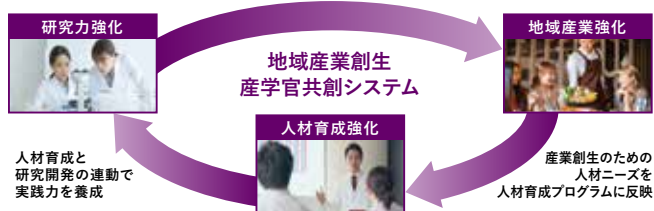
現在構築中のプロジェクト



おいしさDX共創IP

新潟は全国でも有数の食資源に恵まれた地域であり、食産業は長年にわたり地域経済を支える柱となってきました。その一方で、地域産業には労働生産性や人材確保などの様々な課題もあります。おいしさDX共創IPでは、食産業の付加価値や労働生産性の更なる向上に貢献するため、「食科学」×「情報科学」を中心とした食の総合知を結集し、おいしさのデータ基盤の構築と活用による組織的地域創生プロジェクトに取り組んでいます。

研究成果の社会実装で地域産業を強化



にいがた2kmおいしさDX産学官共創プロジェクト

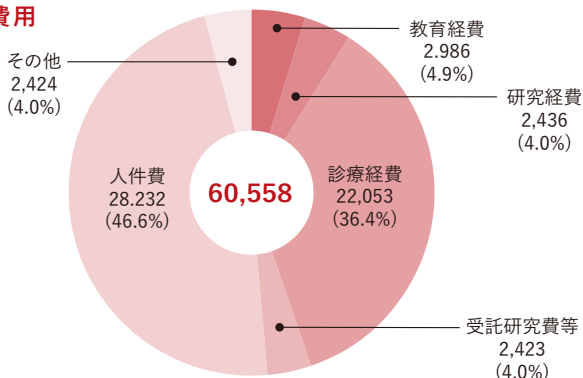
新潟市の中心エリア「にいがた2km」を拠点に、地域の食材・食品等のおいしさに関するデータを活用した地域創生を目指すプロジェクトです。本プロジェクトは新潟市、新潟大学及び株式会社メビウスの3者が中心となり、2024年度の内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」の本申請枠に採択され、2025年度から本格的にスタートしました。地域の食品製造業や飲食業などとの協働により、おいしさのデータに関する研究開発、研究成果を活用した新サービスの開発、食のデジタル人材育成プログラムの構築、トップレベル人材の招へいや組織体制の強化などに取り組んでいきます。

14

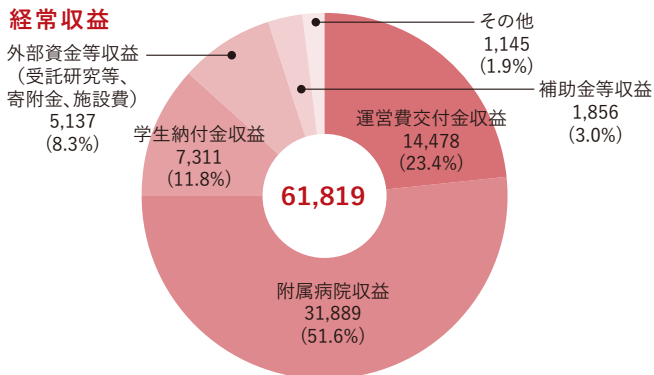
財務状況 (2023年度)

単位:百万円

経常費用



経常収益



15

科学研究費助成事業採択状況 (2024年度)

内定件数	719件
交付金額	約13.4億円(直接経費)

16

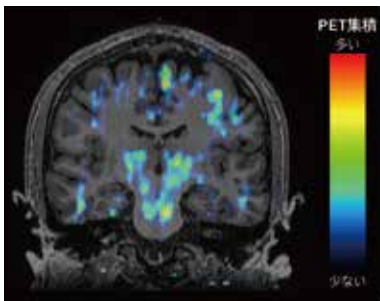
外部資金受入状況 (2024年度)

区分	受入件数	受入額
共同研究	288件	593,580千円
受託研究	330件	2,190,900千円
寄附金	2,602件	1,523,416千円
合計	3,220件	4,307,896千円

1967年に日本で最初の脳神経に関する国立大学附属研究所として設立された脳研究所は、アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脳腫瘍、脳血管障害などのヒト脳疾患の病因・病態解明を目指しています。近年、ガンや心血管疾患の治療が進む一方で、高齢化が進展し、加齢に伴う脳疾患の患者数は急増し、社会的な問題となっています。そのため、脳研究所では先進的な診断法や新しい治療法の開発に積極的に取り組んでいます。



世界最大規模：3万点の凍結脳標本を保存している超低温冷凍庫



脳病態PETイメージングでとらえた前頭側頭葉変性症のタウ病変

積雪地域における自然災害とその対策技術の研究を目的として、前身である積雪地域災害研究センターが1978年に設置されました。現在では、日本海側唯一の総合的災害研究機関として、変容かつ激化する自然災害に対して適応能力が高いレジリエントな社会の構築を目指し、日本海側地域や積雪地域に特有な災害に焦点を当てて、そのメカニズム解明と減災に関する研究を国内外の研究機関と連携して推進しています。



2024年能登半島地震による液状化被害調査



国道8号における大雪による大規模車両滞留調査
(2022年12月)

アジア連携研究センター

世界人口の2/3近くを占めるアジア地域をフィールドにして、文理融合・分野横断的に未開拓領域を切り拓く国際共同研究を進めています。人々の相互理解を重視しながら、アジア共通の課題の解決にも挑んでいます。



シンガポールでのアニメ中間素材展

佐渡自然共生科学センター

森林領域(演習林)、里山領域(朱鷺・自然再生学研究施設)及び海洋領域(臨海実験所)の3つの領域・施設で構成され、地域と連携、協働しながら、新しい「自然共生科学」の展開を目指しています。



演習林の天然杉

日本酒学センター

日本酒に関わる文化的・科学的な幅広い分野を網羅する世界初の学問領域「日本酒学(Sakeology)」。

総合大学の強みを生かした領域横断型の研究を進めるとともに、新潟県および新潟県酒造組合と連携協定を締結して3者の力を結集し、日本酒に係る「教育、研究、情報発信、国際交流」に関する事業を展開しています。



大学院日本酒学プログラムでの酒造り(製麹)

ビッグデータアクティベーション研究センター

高度デジタル社会における分野融合研究、人材育成、産学連携の推進を加速することを目的に、大規模データからの新たな知識の創発とヒューマンネットワークの活性化(アクティベーション)をらせん状に組合せ、学内外におけるイノベーションの実現を目指しています。



全学学生を対象とした人工知能による画像認識プログラムの実習

20

医歯学総合病院

医科32診療科、歯科5診療科、計37診療科、827の病床を備え、地域の特定機能病院として高度かつ先進的な医療を提供しています。医歯学総合病院は、その理念である「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します」に基づく病院づくりを一層推進し、社会に開かれた医療を実践する大学病院を目指します。



医歯学総合病院全景

コワーキングスペース(I-DeA)



21

附属図書館

中央図書館(五十嵐キャンパス)と医歯学図書館(旭町キャンパス)で構成され、両キャンパスにおける教育研究活動を支援しています。両館に設置の「ラーニング・コモンズ」には、グループで学習するための什器や大型ディスプレイ等を整備し、主体的学習をサポートしています。



中央図書館



医歯学図書館

22

その他の施設

■ 駅南キャンパスときめいと

新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地
プラカ1・2階

■ 佐渡サテライト

新潟県佐渡市河原田本町202番地
インキュベーションセンター河原田本町1階

■ 農学部附属フィールド科学教育研究センター

● 村松ステーション 五泉市石曽根6934

● 新通ステーション 新潟市西区新通2156-1

■五十嵐キャンパス

[JR]

JR新潟駅 — (越後線/20分) → JR新潟大学前駅 → (徒歩/15分)

[新潟交通バス]

JR新潟駅バスターミナル — (新潟大学行き/45分) →
新大正門 → (徒歩/1分)

[タクシー]

JR新潟駅 — (30分) → 五十嵐キャンパス

■旭町キャンパス

[JR]

JR新潟駅 — (越後線/5分) → JR白山駅 → (徒歩/10分)

[新潟交通バス]

JR新潟駅バスターミナル — (信濃町行き/15分) →
市役所前 → (徒歩/3分)

[タクシー]

JR新潟駅 — (10分) → 旭町キャンパス

■新潟空港→JR新潟駅

[新潟交通バス]

新潟空港 — (新潟駅前行き/30分) → JR新潟駅

[タクシー]

新潟空港 — (20分) → JR新潟駅



新潟大学公式アプリ

在学生、受験生、卒業生向けの情報をコンパクトにまとめ、随時お届けしています。



新潟大学2025

編集・発行／新潟大学広報事務室

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL.025-223-6161(代表)

<https://www.niigata-u.ac.jp/>

新潟大学

検索



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます

発行2025年9月